



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成  
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆3月の目標

- ☆3つの「あ」
- ※あいさつ
- ※あんぜん
- ※あとかたづけ

☆配布物のお知らせ

・学校便り53号

☆今後の主な予定

- ・3月25日 卒園式・卒業式 修了式
- ・4月 8日 始業式、入園式 入学式

☆六年二組 忘れられない出来事

江泉 大和

アメリカに行くことになったんだ」と五年生の冬、お父さんに言われた。最初に思ったことは、アメリカに行きたくないということだ。

なぜなら、日本の友達と離れ離れになってさびしいからだ。さらに、慣れた環境ではないから、一人で家に残っても日本にいたいと思った。アメリカに行く前には、たくさん友達と遊んだ。でも、やっぱりアメリカに行くことを考えるとさびしい。

アメリカの生活が始まって気持ちが変わってきた。学校では、やさしい子はすぐに友達になってくれた。休み時間には、友達とバスケットボールをやったり、おにごっこをして楽しんでいる。アメリカの友達は、おとなしい子もいれば元気な子もいて、日本に似ていた。アメリカも楽しいと思った。ただ、英語を覚えるのが大変だったから、友達になんて言いたくても思うように会話ができない。言いたいことがすぐに言えずじれったい。だから、早く英語を覚えて友達と先生と話せるようになりたい。授業やスポーツに積極的に取り組んでアメリカのことを知りたい。

☆六年二組 忘れられない言葉

金田光太郎

見ざる、聞かざる。言わざる。」この言葉は、ぼくが、まだ小さいときに会いました。この言葉を知ったのは、まんがに書いてあったこととお母さんがよく言っていました。このことばを聞いたとき、ぼくは、なんだろう、それは」と思いました。ですが、三年生ぐらいになると意味が分かってきました。なぜなら、ぼくが日本にいた学校では、三人のいじめっ子がいました。いつもいばって、先生が来る時は逃げ、つかまった時は言い訳を言っていて、お母さんが言っていた見ざる、聞かざる、言わざる。」を思い出しました。そして、その人たちは一切かわらないようにしました。そしたら、いじめっ子をあんまり見ないようになり、いじめっ子がいました。その子には、悪いなと思いましたが、いじめられはしませんでした。ぼくは、そこにいじめられはしませんでした。きられちゃうかなと思いましたが、その子は、いっしょにみんなと遊んでいたのです。すごいなと思いました。

☆六年二組 みんな違ってみんな良い

小松 大空

みんな違って、みんな良い。」この言葉は、学校の図書室で目に飛び込んできた。この本は、ぼくの明日をかえた。目に飛び込んできた時からぼくにとって忘れられない言葉になった。三年生になって図鑑などいろいろの本を読むようになってきたぼくは、クラスの図書室の時間になるときも雨の日に図書室に行くようになった。しかし、クラスの中である女の子がいじめにあった。そして、それが何日も続いた。そこで、ぼくは、雨の日に図書室へ行くとき、みんな違って、みんな良い。」の本の題名は、みんな違って、みんな良い。」という本だった。その本に興味をもって、読んでみると一人一人に自分自身だけのさいうがあつて、そのことは、いいことだとわかってあつた。この言葉は、ぼくの明日を

☆六年二組 忘れられない言葉

永華 蒼士

変えたのだった。このことをみんなに話したら、いじめがとまった。この本を読むまでは、このことを考えたこともなかった。この言葉は、たぶん、みんなが賛成すると思った。この言葉が目に入っ



ぼくの忘れられない言葉は、日本に住んでいる時、ぼくの先生が言った無駄なことはありません。あるとすれば、何かを無駄と思うことです。」という言葉です。この言葉を聞いたとき、ぼくは初めて良い言葉だと思いました。その先生は、そういった言葉を度々いうのですが、ぼくの中でこの言葉だけが、別に心に残りました。その時は、良い言葉としか思いませんでした。ですが、何かがあるたびに、思い出すようになりました。それだけに残っていたというところに、この文章を書いている最中に気が付きました。ぼくは、こういって心に残るような言葉は、ないと思っていたので、気が付いたときは少し驚きました。ぼくは、案外この言葉に助けられていたのかもしれない。こういって言葉を伝えてくれる人が近くにいたことは、ありがたいことだと実感しました。

☆六年二組 忘れられない言葉  
前村 慶介

ぼくの忘れられない言葉は仲間です。なぜかという、仲間は大切だと思っただけです。

ぼくは、テレビなどを見てニュースや新聞などでいじめはあると書いてありましたが、このいじめられている人などは友だちなどがいなくて自殺をしてしまふなどの命にもかかわったりして、仲間が本当に大切だと思えました。これからは仲間を大切にしていきたいです。そのためにもけんかをしないで、仲よく遊んでいきたいです。今いる人と仲良くして、いじめられないようにしていきたいです、

この仲間という言葉は、これからは忘れない言葉なので、けんかなどしなないでこれからも仲よくしたいです。

☆六年二組 忘れられない言葉  
村上雄一郎

ぼくの忘れられない言葉は、楽しいです。この言葉は良い感情とか思いを表しています。ぼくは楽しいときが人生で一番好きなきです。

ぼくが初めて楽しいに出会ったとき、ぼくはまだ幼い子どもでした。友だちの家に行ったのが、楽しくなったときは、いつも笑っていました。

ぼくは、楽しいことをするのが大好きです。これからも、いろんな楽しいことをできたらいいです。ですが、楽しいことをするには努力も必要です。

☆三年二組 三年生の思い出  
鈴木 一貴

三年生の一番の思い出は運動会です。どうして一番の思い出かという、白組が勝ったからです。その日はすごくうれしかったです。今年が初めてです。お母さんが作ったお弁当もすごくおいしかったです。

二番目の思い出は、習字の練習をしたことです。初めての習字は、筆を持つことがむずかしかったです。先生にどう持つのかを教えてもらいました。うっかりすみをこぼしてしまいました。

、黒い服を着ていたので、目立ちませんでした。



☆三年二組 三年生の思い出  
井田 陽太

ぼくは、しゅくだいと勉強が思い出です。どうしてかという、三年生になって二年生よりもむずかしくなったからです。しゅくだいや勉強をおわらせたら、すっきりした気分になるからです。だんだんむずかしくなるから、すっきりしたきぶんが大きくなるからです。でも、しゅくだいがむずかしくなってきたら、しゅくだいに時間がかかってじゆう時間がないときが多いです。でも、しゅくだいは、わたしたちにとってたいせつなものです。でも、じゆう時間はほしいです。これで

ぼくの話は終わります。

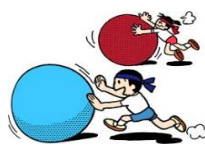


☆三年二組 三年生の思い出  
小柳 太が

アメリカに来て初めての運動会。ぼくは、日本の運動会に二年連続で参加できま

せんでした。体調不良ときこつこつせつが理由です。今回無事に参加できたことがとてもうれしくて一生けん命どの種目もがんばりました。

とくにがんばった種目は、大玉ころがしです。ペアで上手にころがさないといけなくて、いろんな方向に玉が転がりました。ぼくは、せがひくいので、玉をころがすのは、とても大へんです。しかも、先頭だったので、きんちようしました。とくにむずかしかったのは、コーンを回るところです。無事に次の人におたすことができ、ホッとしました。



みんながさいごまであきらめずにがんばったので勝つことができました。いい思い出になりました。

☆一年三組 いいこといっぱい  
鈴木 けい太

ぼくは、うんどうかいでかけっこをしました。九月にしました。日本ご学校でした。学校のみんなでおちゅうでほかのことではかんがえられませんでした。びっくりしました。



☆一年三組 いいこといっぱい  
ふじわら こうし

ぼくは、はれだったとき、学校のグラウンドでもだちのみんなとサッカーをしてるとちゅう、まさしく「がんばれ」といって、ぼくは「うん」とこたえました。おもしろかったとつたえたいです。らいねんもサッカーをしたいです。



☆一年三組 いいこといっぱい  
前村 まさ人

ぼくは、二月十五日にこうしくんとサッカーをしました。ほかの人もはいてきました。ほかの人と力をあわせてやったら、ぼくたちのチームがかちました。らいねんもかちます。おもいます。



